

令和3年度 新潟県立看護大学振興協力会総会 議事要旨

出席者（回答者）： 93者（団体・個人）

令和3年度新潟県立看護大学振興協力会総会を書面会議（令和3年9月16日（木）～令和3年9月30日（木））により開催し、次の議事について審議の結果、承認された。

議事1・2・4・5について、原案のとおり承認された。

- 議事1 令和2年度事業報告（案）
- 議事2 令和2年度決算報告（案）
- 議事3 監査報告
- 議事4 令和3年度事業計画（案）
- 議事5 令和3年度予算（案）

〈 看護大学におけるシミュレーターの活用について 〉

令和2年度に振興協力会様のご支援により、「超低床ベッド」「老人介護モデル小春さん」をそれぞれ1台ずつ整備しました。

超低床ベッド

主に学部の「老年看護学演習」において、高齢者のケア現場を想定し、ベッド上での高齢者の食事、口腔ケア、排泄、更衣介助などの技術練習で使用します。

また、臨地実習期間中も技術を高めるために、学生同士の練習にも使用します。



画像：フランスベッド株式会社のホームページより

超低床ベッドは床上10cmまで下がり、高齢者の病状に合わせた看護援助のケアを考える際に活用します。

老人介護モデル 小春さん

「在宅看護論演習」での日常生活援助技術の演習では、基礎看護技術を応用し、家庭にある日用品を使用しながら技術を習得します。

清拭（患者の体をタオルなどで拭いて清潔にすること）、部分浴、寝衣交換、義歯取り外しなどの練習を重ねながら、技術の向上を図ることができます。



画像：株式会社坂本モデルのホームページより



内蔵された骨格によって、膝や指先に至るまで体各部の関節がリアルに動きます。モデルを活用して技術練習を繰り返すことで、実践力を高めます。